



国宝「縄文の女神」の3Dモデル



ヤマガタダイカイギュウ（アルミ模型）



縄文の女神（山形鋳物）とクリアファイル

県立博物館が変わり始めた!!

館長：高梨 博実

今年度、「地域とともに歩む博物館」をめざし、改革に取り組んで来ました。人・金・物ともに非常に厳しい環境の中、今できることをやろうと、職員一同で頑張ってきたことを紹介したいと思います。

変革 1： 2人の「縄文の女神」

4月、国宝展示室が完成し「縄文の女神」の実物の常設展示を始めました。12月には、現代の最先端技術である3Dプリンターを用いた「縄文の女神」の3Dモデルが完成しました。本館では、4月からこのプロジェクトを立ち上げ、協力団体・企業を探して来ましたが、それがやっと叶った訳です。今、本館では、1Fフロアで「3Dモデル」が来館者を迎え、2Fでは「縄文の女神」の実物が来館者に語りかけています。

変革 2： 2体の「ヤマガタダイカイギュウ」

12月、今年度で閉校となる県立東根工業高等学校から「ヤマガタダイカイギュウ」の実物大模型の寄贈を受け、本館入口にモニュメントとして設置しました。こちらは、アルミ製のボディを輝かせながら、約1000万年前の「ヤマガタダイカイギュウ」のレプリカとともに来館者を迎えています。

変革 3： ミュージアム・グッズの充実

他の博物館と比較すると、本館のミュージアム・グッズは甚だ貧弱と言わざるをえません。そこで、入館者のニーズに少しでも応えようと、博物館友の会と協働して「縄文の女神」の置物（山形鋳物）とクリアファイルを新たに追加しました。ファイルには「ヤマガタダイカイギュウ」も加え、どちらも自信作で好評発売中です。

変革 4： 広報活動の拡大

昨年度、「縄文の女神」が国宝に指定され県立博物館の周知度は幾分上がったものの、「県立博物館はどこにあるの?」という声を未だに聞きます。そこで、マスコミを通じた広報活動を強化する一方、従来の博物館HPに加え、フェイスブックとツイッターで博物館の公式ページを立ち上げました。



博物館サイト



ツイッター



フェイスブック

「変わりつつある県立博物館」を確かめるために、是非ご来館ください。

企画展の展示報告

企画展「やまがたの野生動物」

開催期間：平成 25 年 7 月 27 日（土）～ 平成 25 年 9 月 23 日（月）

山形県内に生息する「哺乳類」と「鳥類」の展示で、哺乳類はできるだけ多くの剥製や骨格を取り上げ、鳥類は絶滅危惧種を中心とするものでした。なかでも「カワウソ」「トキ」「コウノトリ」「タンチョウ」などは通常見ることのできない貴重な標本でした。大型の哺乳類である「ツキノワグマ」「カモシカ」「ニホンジカ」も迫力のあるものになりました。さらに、県内の研究者の協力を得て生態写真を多数展示することができました。

会期中約 1 万人の来館者があり、展示をご覧いただき大変感謝しています。アンケートではほとんどの方より良かったとの評価をいただきました。また、県外からも

多数来館いただいたことがわかりました。この間 4 回の「野生動物講演会」、子ども向けの「昆虫の不思議講演会」を開催し多数の参加者がありました。この企画展や講演会を期に多くの方々から野生動物に関心を持っていただけたと思っています。



特別展「雪害調査所」 — 松岡俊三の戦い、そして地域振興の民芸品 —

開催期間：平成 25 年 10 月 12 日（土）～ 平成 25 年 12 月 8 日（日）

本展示会は、雪害救済運動を提唱して「雪害調査所」設置に尽力した楯岡出身の代議士松岡俊三の活躍を紹介するとともに、農家の副業として地域振興をめざし「雪害調査所」が収集した民芸品の数々を、県民の皆様にご覧いただきたく企画しました。おかげさまで、会期中は約 8 0 0 0 人の方にご来館いただき好評を博しました。

アンケートの結果では、96%以上の方に「大変良かった・良かった」と回答いただきました。ご意見として「松岡や雪害運動について知ることができた」、「雪害調査所と民芸運動の関係が分った」、「ペリアンの作品を見ることができ良かった」と

ともに、「今回のように地域（人物）の展示会をしてほしい」、「PRが少ない」など頂きました。今後の展示会の参考にしたいと思います。



展示解説会の様子

企画展のご案内

共同企画展「私たちのたからもの」 — 山形城下絵図 —

開催期間：平成25年12月21日（土）～平成26年2月16日（日）

山形県立博物館と山形県立博物館友の会の共同企画展「私たちのたからもの」は今回で5回目を迎えます。今年度は、山形県内外に伝わる「山形城下絵図」の所在調査を踏まえ、新出の山形城下絵図を含め多数展示しています。最上時代から水野時代までの「山形城下絵図」を一堂に集めての展示会としては、今までにない大規模なものです。そのほか、山形城跡から発掘された貴重な遺物や、華やかな秋元藩の調練を描いた絵巻物なども展示しています。

最上義光没後400年の年にあたり、山形城の変遷を山形城下絵図等で読み解き、いにしへの山形をしのんでいただきたいと思います。

今回の展示会を通して郷土の歴史や私たちの身の回りにもあるたからものに目を向け、大切に伝えていこうとする心が育まれることを願っています。

【ミニ解説会】：2月1日、2月8日、2月15日
各土曜 13：30～ 第三展示室



最上時代山形城下絵図
(伊藤本・個人蔵)



ミニ解説会の様子

企画展「教育資料館 新コレクション展」

開催期間：平成26年3月1日（土）～平成26年5月25日（日）

山形県立博物館教育資料館(分館)は、国指定重要文化財「旧山形師範学校本館」の保存と活用を目的に設立された、県立としては全国でもほぼ唯一の教育博物館です。

当館は、江戸時代から現代まで「教育県山形」の歩みをたどり、新しい時代にふさわしい教育を創造する知恵を発見する場として、これまで多くの皆様にご利用いただきました。当館では、現在、数万点に及ぶ教育資料を収蔵するに至りましたが、本展では、当館が近年収集した資料の内、未公開のものを中心に紹介します。

本展を通して、当館の活動に対するご理解が深まり、これまで以上のお力添えを賜うことができましたら幸いです。

〈主な展示資料〉

- ・往来物など寺子屋関係資料
- ・幕末・明治初期の英学関係資料
- ・福沢諭吉関係の出版資料
- ・戦後から近年に発行された学校文集
- ・戦前につくられた学校関係の絵葉書
- ・その他



寺子屋の教科書



豊臣秀吉出世双六

ご来館団体（平成25年9月～平成26年1月）

県内学校関連

大江町：左沢小学校 左沢高校 **金山町**：有屋小学校 金山小学校 **河北町**：谷地中部小学校 西里小学校 溝延小学校
上市市：宮川小学校 西郷第二小学校 南小学校 **川西町**：高山小学校 **寒河江市**：高松小学校 **庄内町**：余目第四小学校
新庄市：北辰小学校 **鶴岡市**：大泉小学校 東栄小学校 **天童市**：成生小学校 干布小学校 高櫛小学校 寺津小学校
蔵増小学校 長岡小学校 津山小学校 天童南部小学校 天童北部小学校 **中山町**：長崎小学校
南陽市：梨郷小学校 宮内中学校 **真室川町**：真室川北部小学校 **村山市**：袖崎小学校
山形市：第二小学校 第三小学校 第四小学校 第六小学校 第七小学校 第八小学校 第十小学校 東小学校 南小学校
西小学校 西山形小学校 大郷小学校 金井小学校 蔵王第一小学校 鈴川小学校 高瀬小学校 楯山小学校 千歳小学校
南沼原小学校 南山形小学校 みはらしの丘小学校 宮浦小学校 村木沢小学校 山寺小学校 霞城学園高校
東北芸術工科大学 東北文教大学 山形大学 **山辺町**：大寺小学校 相模小学校 **米沢市**：南原小学校 三沢西部

※順不同

県外学校関連

福島県：福島第二中学校

その他

あおぞら幼稚園 遺跡が語る山形の歴史刊行会 登米市歴史博物館友の会 大山文化財を愛する会 クラブツーリズム
小姓町三区町内会 寒河江幼稚園 サロン南ヶ丘 ドレミ幼稚園 なかよし放課後学童クラブ 舟形町教育委員会
みどりのもり保育園 やまがた広報観光協議会 河北町教育委員会公民館連絡協議会 岩手県歴史研究会 吉野宿町内会
宮町女性部 月よう会 戸沢地域市民センター 高島地区公民館 黒川能の里 山形市観光ボランティアガイド協会
山形聖マリア幼稚園 子供の城保育園 秋田県五城目町教育委員会文化財保護審議会 食生活改善協議会 第3地区町内会
栃木県大田原東地区生涯学習推進協議会 成沢郷土史研究会 竹田西武幼稚園 土蔵サロン 夢工房 ※順不同

友の会ご案内

山形県立博物館友の会は博物館事業を支援し、地域文化の発展に貢献するとともに、会員相互の交流を図ることを目的とする。

- ◆主な活動 会員の学習と交流（講演会・学習会・会報等の発行）
博物館との共同企画展の開催
博物館への協力（教育活動・資料調査・展示・広報活動への協力）
地域への貢献（出版物刊行・販売）
- ◆会員種別 個人会員（年会費1,000円） 団体会員（年会費2,000円）
家族会員（年会費1人600円） ※個人会員と住所が同じ家族
- ◆会員になると 会員証の発行 会報・友の会行事案内・催物案内の送付 その他、会員特典あり

山形県立博物館

〒990-0826 山形市霞城町1番8号

TEL:023-645-1111 / FAX:023-645-1112

URL:<http://www.yamagata-museum.jp>

山形県立博物館 教育資料館(分館)

〒990-0041 山形市緑町2丁目2番8号

TEL:023-642-4397 / FAX:023-642-4403

URL:<http://www.yamagata-museum.jp/education-museum/>